令　和　3　年　度　　自　己　評　価　の　ま　と　め

A：実践が進み、着実に成果を上げている。　　C：実践に努めている。
B：実践に努め、徐々に成果を上げている。　　D：努力を要する。　　基準値＝2.5

・赤字は昨年度よりも低下した部分
・青字は昨年度よりも大幅に改善された部分（0.4point以上の上昇）

		評価						取組方法・改善方策について
領域	教育目標・学校運営	A	B	C	D	平均点	昨年度	
1	教育目標は、学校や生徒の実態、地域等の要望を踏まえている。	2	13	1	0	3.1	2.9	
2	教育目標の達成に向けた校内体制は適切に組織されている。	2	14	0	0	3.1	2.6	・職員室の雰囲気が良くなり、教職員の職務に対する取り組み状況の向上が見られた。
3	教職員間、教職員と管理職間の対話が推進され、協働意識が形成されている。	3	11	2	0	3.1	2.6	・教職員と管理職間の対話が十分になされている。
領域	教育課程・学習指導(教育課程の状況)	A	B	C	D	平均点	平均点	
4	教育課程は生徒の進路志望の実現に相応しいものである。	2	12	2	0	3.0	2.8	
5	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習・指導方法の改善のための取組が推進されている。	2	9	5	0	2.8	2.7	
6	生徒の実態を踏まえた教材研究や授業方法の工夫・改善が図られている。	1	12	3	0	2.9	2.9	
7	基礎学力の定着や自主的に学習する態度の育成が図られている。	0	9	7	0	2.6	2.6	
領域	進路指導	A	B	C	D	平均点	平均点	
8	進路学習や講習・模試の設定等の取組は生徒の進路目標達成を十分支援するものある。	1	12	3	0	2.9	3.1	・生徒の特徴や適性を見極め、進路情報を提供する必要がある。
9	勤労観や職業観等、生徒が主体的に進路選択の能力・態度の育成に向けた指導が行われている。	1	11	4	0	2.8	2.7	
10	保護者に対し、3年間を見通した進路指導計画を明確に説明している。	1	8	7	0	2.6	2.5	・コロナ禍ではあ有るが、説明会の充実を図る必要がある。
11	保護者に対し、生徒の進路決定など進路指導に関する情報提供は十分に行っている。	1	12	3	0	2.9	2.7	
領域	生徒指導	A	B	C	D	平均点	平均点	
12	校内組織の連携が図られ、学校全体で生徒指導に取り組むことができている。	0	7	9	0	2.4	2.3	
13	保護者や地域社会、関係機関等との連携・協力が図られている。	1	10	5	0	2.8	2.8	
14	規範意識の向上に努め、社会の一員としての自覚を促す指導が実施されている。	2	10	4	0	2.9	2.4	・教員と生徒とのコミュニケーションが効果的に図られ、生徒理解に結びついている。 ・生徒の規範意識の向上が見られた。
15	学校行事や生徒会・HR活動等を通して生徒の豊かな心の育成が図られている。	3	10	3	0	3.0	2.8	
16	教育相談体制を整備し、相談活動が積極的に行われている。	4	12	0	0	3.3	3.2	・傾聴指導等を積極的に行うことができた。
17	いじめの未然防止や発生時の対応は適切に行われている。	2	12	2	0	3.0	2.9	

領域	健康・安全指導	A	B	C	D	平均点	平均点	
18	家庭や地域の保健・医療機関等との連携が行われている。	3	12	1	0	3.1	3.1	
19	疾病予防等、生徒の自己健康管理能力向上のための取組がされている。	3	9	4	0	2.9	3.2	
20	校内外の事件・事故や災害等に対する危機管理体制は適切に整備されている。	1	11	4	0	2.8	2.8	
21	教職員・生徒の安全対応能力向上を図る取組がされている。	2	11	3	0	2.9	2.7	
22	校舎・校地の環境は適切に維持されている。	3	13	0	0	3.2	3.2	
領域	特別支援教育	A	B	C	D	平均点	平均点	
23	特別支援教育委員会が機能し、各学年等との連携が図られている。	4	10	2	0	3.1	3.0	・コーディネーターを中心に組織的な動きや情報共有ができている。
24	生徒の実態把握が行われ、支援を必要とする生徒に、具体的な支援活動がされている。	3	11	2	0	3.1	3.1	・生徒の特性に応じて、計画的な支援体制の充実を図る必要がある。

◆ 校長が掲げた重点ポイントについての評価

（基準値＝2.5）

	重点ポイント	A	B	C	D	平均点	平均点	
1	信頼され選ばれる学校づくり （学校便りや学校ホームページ等の広報活動の充実）	4	12	0	0	3.3	2.9	・HPが更新及び町広報での情報提供の充実が図られている。
2	組織運営 （学校経営に関する適切な情報の提供と面談等による指導、アクションプラン：働き方改革の推進）	4	12	0	0	3.3	2.9	・管理職からの声かけや時間外勤務縮減週間等の導入により改善が進んでいる。
3	教職員の資質向上 （管理職からの日常的かつ適切な指導の実施と情報提供）	4	12	0	0	3.3	2.7	・日報裏面の情報提供は効果的であった。
4	学習指導 （シラバスを基本とした指導・評価の意識化、授業評価等によるシラバスの見直しと改善）	3	10	3	0	3.0	2.7	・シラバス作成や教育課程の改善等先行してできていた。
5	生徒指導 （生徒会活動、就業体験、ボランティア活動等、生徒主体の活動の活性化）	5	10	1	0	3.3	2.8	・生徒会活動では生徒会総務を中心に効果的に運営されている
6	進路指導 （3年間を見通した組織的で計画的な進路指導の実施）	2	12	2	0	3.0	2.9	・組織的で生徒の特性に応じた指導が必要になっている。
7	健康・安全指導 （SCとの情報共有や教育相談週間における面談等による生徒理解の深化）	4	12	0	0	3.3	3.2	・適切に実施できている。

【自由記述欄】

・ICTの活用やGIGASCHOOLの準備について行えるか不安である。
・前期の反省会議を設定する事で、年度途中で方向性や取り組みを確認及び修正できた点が良かった。
・分掌の改編や業務の見直しを図ることがある程度できたが、本格的に進める必要がある。
・生徒個々に応じたオーダーメイドの進路指導や教科指導が必要になってきている。生徒の特性を早期に見極め、個別最適化された指導が必要である。